

<http://www.shika-implant.org/>

インプラント
ニュース



since 1972
Japanese Society
of Oral Implantology

第28号

平成30年8月15日発行

Implant News No.28

公益社団法人 日本口腔インプラント学会会報

発行人 宮崎 隆 編集 公益社団法人 日本口腔インプラント学会広報委員会

事務局 〒108-0014 東京都港区芝4-3-5 ファースト岡田ビル8F

TEL. 03-5765-5510 FAX. 03-5765-5516

HP: <http://www.shika-implant.org/> Eメールアドレス: jsoi@peace.ocn.ne.jp

【本号のトピックス】

第48回学術大会迫る，平成29年度各種専門資格合格者，
支部シンポジウム報告，理事長挨拶，新役員紹介 など

第48回日本口腔インプラント学会学術大会開催の挨拶

大会長 馬場 俊輔

近畿・北陸支部 支部長

大阪歯科大学口腔インプラント学講座 主任教授

第48回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会が近づいてまいりました。平成30年9月14日(金)～16日(日)の3日間の日程で、大阪国際会議場にて開催いたします。メインテーマは『インプラント治療が拓く未来』とし、サブテーマは「超高齢社会への責任」を掲げて、超高齢者のインプラント治療を再考する良い機会にしたいと考えております。そして本大会では大阪宣言「健康長寿社会の実現に向けて！日本口腔インプラント学会がなすべき歯科医療イノベーション」を発信して、超高齢社会のなかでインプラント治療が国民の信頼を得られるためのあるべき姿について検証する学会にしたいと思います。仙台大会からのメインテーマ『インプラント治療が拓く未来』は、前回までに健康寿命の延伸にインプラント治療が貢献していることが検証されました。今回の大阪大会では、これを受けて健康寿命が延伸できたとしても、いつかはその終焉を迎えます。その時に、どのようにインプラント補綴と付き合いければよいのかを検証し、今後どのような解決策があるかを、模索してもらいたいという意味で、多くのシンポジウム等を企画いたしました。企画講演1では「超高齢社会への責任、患者に寄り添う歯科治療を目指して」としてまさに今、現場で何が起きている、何が求められているのかを討論していただきます。シンポジウム1の「インプラント治療時の患者年齢と補綴方法を考察する」や、シンポジウム6の「無歯顎に対するインプラント治療を整理する」

では、健康寿命の終焉を見据えた補綴治療の選択肢について言及していただきます。また、シンポジウム9では「インプラント治療高齢患者に対する外科的対応基準」として外科的な対応にも踏み込んで講演していただきます。このように、超高齢社会をキーワードとして展開される企画講演、シンポジウムおよび専門衛生士教育講座等を多数用意して、多彩な角度から考察できるようにいたしました。

そして、特別講演は、ポッチェリー先生とアルブレクソン先生を招聘して「オッセオインテグレーションとインプラント周囲炎」のタイトルで熱く語っていただきます。

若手の先生やインプラント治療をこれから始めようとしていらっしゃる先生には、従来からの企画である「BACK TO THE BASICS」も用意しております。そして歯科衛生士や歯科技工士の皆様にも興味を持っていただける企画を盛り沢山用意しております。

さらに、今回は特別に「医薬品医療機器総合機構セミナー」と題して、日頃より歯科医療機器の承認審査を務めておられるお立場から、開発・薬事担当者を対象とした「歯科医療機器の開発サイクルに求められるもの」と題してご講演いただきます。貴重な機会ですので、企業の皆様には奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、どうぞ9月には大阪にお越しいただきますよう近畿・北陸支部を挙げてお待ちしております。

第48回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会

テーマ:インプラント治療が拓く未来 ~超高齢社会への責任~

2018年9月14日(金)・15日(土)・16日(日)

<http://www2.convention.co.jp/jsoi2018/>

会場:大阪国際会議場(〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 TEL:06-4803-5585)

大会長:馬場 俊輔(大阪歯科大学口腔インプラント学講座教授)

副大会長:前田 芳信(大阪大学大学院歯学研究科特任教授)

阪本 貴司(大阪口腔インプラント研究会施設長)

名誉大会長:川添 堯彬(大阪歯科大学理事長・学長)

実行委員長:戸田 伊紀(大阪歯科大学解剖学講座准教授)

準備委員長:山田 陽一(大阪歯科大学口腔インプラント学講座准教授)

吉田 春陽(大阪口腔インプラント研究会)

草野 薫(大阪歯科大学口腔インプラント学講座准教授)

■主催プログラム

14日 (金)	午後	<p>■理事長講演 会員サービスと学会のプレゼンス向上を目指して 宮崎 隆</p>	<p>■医学系研究に関する倫理セミナー 歯科における再生医療、再生医療等安全性確保法、届け出の実際 飛田護邦</p>
		<p>■専門医教育講座 インプラント治療の長期経過とリカバリー 城戸寛史</p>	
15日 (土)	午前	<p>■企画講演 1 超高齢社会への責任、患者に寄り添う歯科治療を目指して 阿部伸一, 糸田昌隆, 池邊一典</p>	<p>■BACK TO THE BASICS 金田 隆, 柿木保明, 木村英隆, 田中譲治 井出吉信</p>
		<p>■シンポジウム 1 インプラント治療時の患者年齢と補綴方法を考察する 椎貝達夫, 黒嶋伸一郎, 菊谷 武</p>	
	ランチョンセミナー		
	午後	<p>■シンポジウム 2 インプラントと天然歯の調和・長期保存を目指して 飯島俊一, 二階堂雅彦, 松井徳雄</p>	<p>■シンポジウム 3 審美領域のインプラント治療の長期予後 日高豊彦, 石川知弘, 千葉豊和</p>
		<p>■シンポジウム 4 安心・安全に行うサイナスリフト 菅井敏郎, 高橋 哲, 坂本菊男</p>	<p>■シンポジウム 5 インプラント治療におけるCT活用の効果と今後の展望を多角的に考える 新井嘉則, 森本泰宏, 木村 正</p>
		<p>■教育・研修委員会セミナー 専門医育成教育のカリキュラムプランニング-学会のGIO, SBOsに対する各研修施設のLS, EV- 俣木志朗, 廣安一彦, 伊藤太一</p>	<p>■倫理審査委員会セミナー 研究倫理の申請方法 戸田伊紀</p>
		<p>■国際誌委員会・国際渉外委員会セミナー 国際誌(International Journal of Implant Dentistry:IJID)のこれまでとこれから 前田芳信</p>	<p>■医薬品医療機器総合機構セミナー 歯科医療機器の開発サイクルに求められるもの 谷城博幸</p>
イブニングセミナー			
懇親会			
16日 (日)	午前	モーニングセミナー	
		<p>■企画講演 2 次世代のインプラント・歯科治療に繋がる医工学技術 松浦祐司, 本田義知, 馬原 淳</p>	<p>■シンポジウム 6 無歯顎に対するインプラント治療を整理する 下尾嘉昭, 堀内克啓, 細川隆司</p>

16日 (日)	午前	■シンポジウム 7 口腔内スキャナーによる光学印象法のインプラント治療への臨床応用 上村江美, 植松厚夫, 北原信也, 深澤翔太	■シンポジウム 8 ソフトティッシュインテグレーション～軟組織付着に関する臨床と研究の現状と将来～ 船登彰芳, 鮎川保則, 山田将博
		■歯科衛生士のための倫理審査入門セミナー 日本口腔インプラント学会における倫理審査委員会への申請方法について 馬場俊輔	■専門歯科衛生士委員会セミナー 歯周病の基礎と診断 阪本貴司
		■専門歯科衛生士教育講座 インプラント専門歯科衛生士教育におけるキーポイント, 患者に寄り添うインプラント治療のために 山田貴子	■研究推進委員会セミナー 学会ポジションペーパー“訪問診療におけるトラブル対応”を語る 大久保力廣, 佐藤裕二, 梅原一浩, 柴垣博一
		■国際渉外委員会セミナー(国際関連セッション) Computer guided surgery ならびに関連する Digital Technology の利用 Karl-Ludwig Ackermann, Peerapat Kaweewongprasert	
		ランチョンセミナー	
	午後	■特別講演 オッセオインテグレーションとインプラント周囲炎 Daniele Botticelli, Tomas Albrektsson	■シンポジウム 9 インプラント治療 高齢患者に対する外科的対応基準 木津康博, 宮本郁也, 岸本裕充
		■シンポジウム 10 海外の基礎研究はインプラント治療をどう変えたか? -From Bench to Clinic- 加来 賢, 神野洋平, 鬼原英道	■専門歯科技工士委員会セミナー デジタル技工の周知, 専門歯科技工士の増強「デジタルと歩むインプラント技工」 十河厚志
		■専門歯科技工士教育講座 歯科用 CBCT の基礎と臨床 清水谷公成	■認定・試験・編集委員会セミナー 専修医・専門医・指導医資格取得のためのガイダンス, 適時調査結果報告 高森 等, 大久保力廣, 細川隆司, 三上 格
		■市民公開講座 幸せさがして 浜村 淳	

大会参加登録

当日参加登録費

資格会員区分		当日
正会員	歯科医師・一般	21,000 円
	歯科技工士・歯科衛生士	9,000 円
非会員	歯科医師・一般	26,000 円
準会員・非会員	歯科技工士・歯科衛生士	10,000 円
	コデンタルスタッフ	9,000 円
	学生(大学院生を含まず)	3,000 円
懇親会		12,000 円

※外国人会員は, 正会員(歯科技工士・歯科衛生士)と同額です。

※学生は, 学生証の提示が必須です。

■大会事務局: 大阪歯科大学口腔インプラント学講座

■運営事務局(お問い合わせ先): 日本コンベンションサービス株式会社 関西支社内

〒541-0042 大阪市中央区今橋 4-4-7 京阪神淀屋橋ビル 2F

TEL: 06-6221-5933 FAX: 06-6221-5938 E-mail: jsai2018@convention.co.jp (営業時間 平日 9:30~17:30)

平成 29 年度 研修施設長名変更

- ・(旧) 日本大学松戸歯学部附属病院口腔インプラント科 加藤仁夫
- ⇒(新) 日本大学松戸歯学部附属病院口腔インプラント科 村上 洋
- ・(旧) 横浜口腔インプラント研究会 野村隆祥
- ⇒(新) 横浜口腔インプラント研究会 山崎 裕

平成 29 年度研修施設長, 施設名変更

- ・(旧) 神奈川県歯科大学附属病院 口腔インプラントセンター 宗像源博
- ⇒(新) 神奈川県歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニック
インプラント科 児玉利朗

平成 29 年度各種専門資格合格者

指導医合格者

- 南部 聡 (東北・北海道支部)
- 山内健介 (東北・北海道支部)
- 山本英一 (東北・北海道支部)
- 五十嵐三彦 (関東・甲信越支部)
- 今村直樹 (関東・甲信越支部)
- 勝沼孝臣 (関東・甲信越支部)
- 廣安一彦 (関東・甲信越支部)
- 北條正秋 (関東・甲信越支部)
- 増田一生 (関東・甲信越支部)
- 山田一穂 (関東・甲信越支部)
- 寺本祐二 (中部支部)
- 福井達也 (中部支部)
- 和田誠大 (近畿・北陸支部) (以上 13 名)

- 林 幹太, 福西雅史, 藤田悟朗, 前田 貢
宮城直美, 山口恭誉
- ▼中部支部
近藤雄三, 澤 明男, 高松 宏, 成田俊英
穂積英治
- ▼近畿・北陸支部
柏木隆宏, 小森由子, 田中栄次, 永山哲史
南部洋郎, 三木通英, 米田浩文
- ▼中国・四国支部
安陪 晋, 鈴木 温, 高田匡基, 寺井邦博
土井一矢, 松友豊伸, 村中哲也
- ▼九州支部
江崎大輔, 緒方理人, 尾立哲郎, 加倉加恵
坂井拓弥, 白井 久, 吉武博美 (以上 65 名)

専門医合格者

- ▼東北・北海道支部
虻江 勝, 石川昌洋, 小山重人, 千葉雅之
横田 潤
- ▼関東・甲信越支部
秋野徳雄, 阿久津正輝, 阿部敏高, 安藤琢真
安藤壽勇, 飯田倫太郎, 猪俣謙次, 岩田優行
宇田川宏孝, 江俣壮一, 大庭容子, 岡田和久
荻原 道, 勝田康弘, 北沢 伊, 栗林伸之
黒川貴史, 黒澤 悟, 坂巻良一, 白井 亮
末石哲之, 関谷弥千, 堤 豊重, 富田尚充
長井哲弥, 中村雅之, 成田達哉, 新美勝海

専修医合格者

- ▼東北・北海道支部
逢坂拓雄, 奥平由紀子, 功刀大地, 小村圭介
嶋村成一郎, 長 太一, 前田大輔
- ▼関東・甲信越支部
阿部祐明, 安齋顕吾, 安藤龍明, 池田岳史
石塚由香季, 市橋満里子, 今宮圭太, 漆原剛起
大久保将哉, 大原誠司, 大八木章好, 岡 吉孝
岡崎耕典, 笠井雄太, 菊島大輔, 喜田晃一
北村英二, 久保佳哉, 小林 公, 是澤和人
佐々木秀人, 澤木勇樹, 塩原数馬, 鈴木匡介
鈴木祐輔, 関根史剛, 高橋章太郎, 高村幸恵

武市完平, 武内一広, 武田和大, 永田紘大
生井宏明, 橋本一慶, 馬場恵利子, 林 丈裕
布施綾美, 松原 明, 三橋憲司, 茂木知宏
八上公利, 矢島奈央子, 柳田泰志, 山口貞博
山崎雄矢, 山田陽子, 吉井 穰, 渡邊正紘
綿引淳一, 藁谷哲哉

▼中部支部

青木佑介, 岩本健治, 岡 義郎, 金子 亮
鈴木 明, 塚本継也, 中川史子, 三矢雄大

▼近畿・北陸支部

伊熊直記, 石井由佳利, 上杉聡史, 浦 栄吾
遠藤輝久, 大谷昌宏, 加藤時規, 木村祐士
楠瀬昌宏, 小西宏和, 末松 亮, 張 端良
都築正史, 松岡 隆, 南口真実, 森脇大善

▼中国・四国支部

大門 忍, 佐竹宣哲, 諏訪一郎, 吉田雅彦

▼九州支部

大多和昌人, 岡本多浩, 楠田優一郎, 熊野 毅
高山雅仁, 中島和慶, 平田祐基, 前田貴代江
宗政 翔, 村川達也, 森谷智基実, 柳 束

(以上 97 名)

インプラント専門歯科衛生士合格者

▼東北・北海道支部

池本久瑠美, 伊藤好見, 太田沙矢香, 菊地絵美
小山悠里, 佐藤元美, 鈴木結衣, 高山智恵
樋口佳央梨, 蓑輪伽奈

▼関東・甲信越支部

秋山美里, 熱田有加, 池田千鶴, 井比円香

宇田川由希子, 大竹知里, 大畑美子, 岡田真衣
岡本陽子, 片渕真弥, 加藤祐美, 小池珠実
猿山美久, 鈴木沙央理, 清尾奈津子, 高橋明美
武田直子, 谷口慶子, 新田晴香, 平山可菜
福井里奈, 本多由佳梨, 三浦直美, 山口千緒里
山崎真菜美, 横山久美子, 渡邊美和子

▼中部支部

上田早苗, 富岡恵美子, 安本美保

▼近畿・北陸支部

石川佳恵, 伊谷美咲, 稲野辺紫巳, 上村奈都子
上村美奈代, 清水雅子, 徳岡亜季, 富久藍子
西田 溪, 林 翔子, 松川あすか, 矢島光江
柏原理奈

▼中国・四国支部

荒井安希, 佐々木美和, 多田由香里, 丸尾 操

▼九州支部

今泉典子, 神之田理恵, 倉永晴子, 柴田直子
中村昌代, 沼口亜衣, 松下智美, 丸島久美子
森あずさ, 吉野貴子

(以上 67 名)

インプラント専門歯科技工士合格者

▼東北・北海道支部

藤田良磨, 村松 勝

▼関東・甲信越支部

吉沢夏樹

▼近畿・北陸支部

松田智典

▼中国・四国支部

井汲 建, 和泉幸治

(以上 5 名)

関東・甲信越支部第 9 回学術シンポジウム開催報告

大会長 築瀬武史

平成 30 年 7 月 22 日, 日本歯科大学生命歯学部富士見ホールで, JSOI 関東・甲信越支部第 9 回学術シンポジウム「集学的治療としてのインプラントを考える～若手インプラントロジストの取り組み～」を開催した. 井汲憲治支部長(日本インプラント臨床研究会)の下, 支部全 27 臨床研修施設(大学系 17 施設・臨床系 10 施設)より選出されたシンポジウム委員を築瀬武史大会長(公益社団法人日本歯科先端技術研究

所), 上田一彦副大会長(日本歯科大学新潟生命歯学部), 小倉 晋副大会長(日本歯科大学生命歯学部), 田村暢章準備委員長(明海大学歯学部)が指揮する形で運営され, 12 名の若手シンポジスト各々の専門領域の講演後, 各セッションで経験豊富な座長とともに会場の質問を含め討論する形式で進行した.

各セッションの内容は以下の通りである. 骨造成・再生医療の材料と上顎洞底挙上術に関するセッショ



築瀬大会長の挨拶



集合写真

ン1は小倉 晋先生、矢島安朝先生（東京歯科大学）座長で、山本麻衣子先生（東京医科歯科大学）「骨再生医療と今後の展望」、磯邊和重先生（東京形成歯科研究会）「インプラント治療における血小板濃縮材料の応用—PRP からの変遷とその検証—」、小川秀仁先生（みなとみらいインプラントアカデミー）「上顎洞挙上術の背景と術後評価」、顎骨再建に関するセッション2は高森 等先生（日本歯科大学生命歯学部）、田村暢章先生座長で、寺本祐二先生（信州大学）「顎骨再建・広範囲顎骨支持型装置治療の若手インプラントロジストの取り組み」、土肥雅彦先生（日本インプラント臨床研究会）「咬合再建を考慮した理想的な骨造成のための外科的挑戦～広範囲顎骨欠損への骨髄海綿骨細片移植を中心に～」、治療計画・上部構造に関わるセッション3は上田一彦先生、塩田 真先生（東京医科歯科大学）座長で、川原 淳先生（横浜口腔インプラント研究会）「矯正治療を伴うインプラントの治療計画と考察」、小野里元気先生（新潟再生歯学研究会）「デジタルソリューションによるインプラント治療～ガイド作成から上部構造まで～」、瀬

戸宗嗣先生（日本歯科大学新潟病院）「インプラント治療のマネージメント」、積田光由先生（鶴見大学歯学部）「インプラント上部構造としてのセラミック修復の予知性を探る」、インプラント周囲炎・トラブルに関するセッション4は小田 茂先生（東京医科歯科大学）、加藤仁夫先生（日本大学松戸歯学部）座長で、藤井政樹先生（昭和大学歯学部）「インプラント周囲炎の予防～清掃性の高い補綴形態～」、佐野哲也先生（総合インプラント研究センター）「インプラント周囲疾患の治療と予防について」、村山大吾先生（埼玉インプラント研究会）「日常臨床で遭遇したインプラントトラブルに対する考察」。多岐にわたる内容で、猛暑の中、企業24社の展示に410名ほどの来場者で成功裏に終了した。

施設の垣根を越えて行うこのシンポジウムは支部の結束も高め、若手の育成にも繋がる夏祭りとして定着している。今回は節目の第10回学術シンポジウムが2019年8月4日に同会場にて田中讓治大会長（日本インプラント臨床研究会）のもと、執り行われる予定である。（文責：実行委員長 竹島明道）

第30回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会報告

朝日大学医科歯科医療センター
（教育・研修委員会前委員）
永原國央

2017年11月26日（日）に愛知県産業労働センターウインクあいちにて、第30回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会「インプラント周囲炎を多方面から考える—材料学からリカバリー処置まで—」と題し、各分野の専門家によるインプラント周囲炎に関する、材料学、病理学、微生物学と臨床的リカバリー

と予防といった内容で講習会を実施しました。

口腔インプラント治療の根本であるインプラント体と周囲骨とのオッセオインテグレーションの定義を踏まえ、インプラント義歯が長期間口腔内でその機能を営む過程において、インプラント周囲の軟組織の炎症と骨の破壊が起った状態が、インプラント周囲炎とさ



全体ディスカッション



会場の様子

れていますが、「このインプラント周囲炎の病因を理解し、その予防と治療が実際、臨床の場においてどのように行われ、どういう状況にあるかという最新の情報を共有し、患者にとってよりよい口腔インプラント治療を提供する。」という主催者のコンセプトのもと、講師の先生方を選定させていただきました。

まずは、チタンという材料学的特性において、インプラント周囲炎をどのように考え治療していけば良いか、チタンエキスパートである朝日大学歯学部玉置幸道教授に御講演いただきました。

その後、インプラント周囲炎の病理学と題して、東京歯科大学松坂賢一教授に御講演いただきましたが、松坂先生の御講演では、「オッセオインテグレーションというのは異物反応（生体応答）の特殊な形態でありインプラント周囲組織の炎症によりその特殊な状態が別の状態の異物反応（生体応答）、すなわち、軟組織により被包されるという状態になる。」というお話をいただき、臨床家に大きな示唆を示していただきました。

続いて、そのインプラント周囲炎で病因としてあげられている細菌に関して、その道の第一人者の東京医科歯科大学和泉雄一教授に御講演いただきました。御講演の中では「微生物検査技術の進歩により、多種の細菌を標的として網羅的に解析することが可能となった。」とのお話で、その技法を応用し歯周病菌とインプラント周囲炎の原因菌との類似性と、細菌種間における特徴的な共起相関関係の検討結果に関するお話をいただき、予防と治療にどのように生かしていくかが今後の課題となることを示していただきました。

ここまでの基礎歯科医学的御講演の後、臨床においてどのような予防策がとられているかについて医療法

人貴和会佐々木猛先生に御講演いただきました。お話の中では、臨床におけるインプラント周囲の骨破壊には、細菌に起因するものと力に起因するものがあるとお示しいただき、その中でも清掃性を考慮したインプラント治療計画、すなわち、インプラント体の埋入位置から上部構造の形状までを、先生のご経験された実際の臨床症例をご紹介いただきながら、どのようにすべきかというお話をいただきました。

最後に、「インプラント周囲炎のリカバリー処置」と題して、明海大学歯学部辰巳順一先生にお話をいただきました。先生のお話では、まず定期検診（適切なメンテナンス）を行っていても5%程度のインプラント周囲炎の発症があるとのことで、その診断方法、初期のインプラント周囲炎の処置、進行した骨吸収を伴うインプラント周囲炎の処置と分かりやすくお話しいただきました。その中で経年的に患者が罹患する全身的疾患に起因して発症するものが示され、口腔内だけのケアでは不十分であると、お話しいただきました。また、外科的処置を行う際のプロトコルをお示しいただき、臨床家にとって大きな示唆をいただけたと感じています。

講習会の最後に質疑応答を受けましたが、時間いっぱいまで活発なご質問をいただきました。

今回、受講生のアンケート調査結果において、毎回冒頭に設けられている「今回の講習会に参加してよかったですか。」という質問に、「良かった」が100%という素晴らしい結果であったことが、その後の理事会で報告されました。さらに、30回に及ぶ本講習会の評価で満点をいただいたのは今回が初めてであり、過去最高の評価となりました。

この場を借りて、講師の先生方に御礼申し上げます。

第31回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会報告

日本歯科大学附属病院口腔インプラント診療科
(教育・研修委員会委員)

小倉 晋

2018年3月18日(日)日本歯科大学生命歯学部九段ホールにて、第31回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会「インプラント周囲炎を多方面から考える；材料学からリカバリー処置まで」を開催いたしました。インプラント治療が予知性の高い治療であると認知され臨床に用いられるようになり30年近く経過しました。しかし、一方でインプラント周囲の骨吸収が世界的に問題視されていますが、インプラント周囲炎の定義、診断、治療法が確立されているとは言い難い状況であります。そこで今回は年間メインテーマの最終講習会であることから主に歯周病学分野でご活躍されている先生を中心にご講演をいただき、材料学から臨床的な対応までを今一度見つめ直し、インプラント周囲炎への対応の方向性を提示していただきました。

午前中は、教育・研修委員長の矢島安朝先生のご挨拶の後、講演は「総括」として今回の講習会担当の小倉が趣旨説明させていただき、続いて「インプラント表面性状が周囲炎に及ぼす影響 —モデル動物実験からの検討—」というタイトルで松野智宣日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座准教授に、モデル動物実験の詳細とその結果からインプラントの表面性状の違いが周囲炎の発症や進展、また治療にどのような影響があるかを基礎的に考察していただきました。その後「インプラント周囲炎に関するリスクファクター」と題し、関啓介日本歯科大学歯学部附属病院歯科インプラント科講師に近年の周囲炎に対する知見を提示していただき、リスク因子としての歯周病に焦点を置き周囲炎の診断

や予後判定に与える有用性や可能性について症例供覧とともに話ししていただきました。

午後には「インプラント周囲炎の診断方法—インプラント周囲炎への対応—」と題し、伊藤太一東京歯科大学口腔インプラント学講座准教授にメンテナンス時のチェック項目をわかりやすく解説していただき、周囲炎の早期発見・診断、さらには予防に重点を置くことが大切であるご講演いただきました。続いて「インプラント周囲炎に対する臨床的アプローチ」というタイトルで小田 茂東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科総合診療部准教授に周囲粘膜炎・周囲炎の国内外での報告の比較や臨床的パラメータの信頼性、さらにはその対処法などを解説していただきました。最後に「インプラント周囲炎治療これからの展望」と題し、佐藤 聡日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座教授から最新の治療の考え方や今後の展望を、当日講演していただいた先生方の本当の意味での総括をしていただき、盛会に講演を締めさせていただきました。

その後、総合討論が行われ多数の質疑応答が行われました。当日は年度末にもかかわらず全国の支部から176名の参加者がありましたが、施設の事情で少し狭いホールになり、ご迷惑をおかけしましたことをこの場をお借りしてお詫び申し上げます。今年度も予定では年度末に本講習会が日本歯科大学生命歯学部で開催される予定ですが、収容人数が多い富士見ホールで行うこととなりますので先生方のご参加をお待ちしております。最後にこのような機会を与えていただきました、渡邊前理事長、矢島前委員長に深く感謝申し上げます。



矢島安朝前教育・研修
委員長のご挨拶



参加いただいた先生方



総合討論風景

第32回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会報告

北海道医療大学歯学部口腔機能修復・再建学系
クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野
(教育・研修委員会前委員)
廣瀬由紀人

第32回口腔インプラント専門医臨床技術向上講習会が、2018年6月24日(日)、ホテル札幌芸文館において開催されました。平成30年度の専門医臨床技術向上講習会のメインテーマは「インプラント問題症例の対応について—特にメンテナンス期におけるリカバリー処置について—」とし、第32回講習会のサブテーマを「臨床現場で有用な解決法を考える」とさせていただきます。近年、インプラント治療は成功の予知性が高い治療であると報告されています。しかし、治療後5年以内に全くトラブルを経験していない患者は、66.4%(EAO コンセンサス会議議事録, 2012)にとどまるという報告もあります。もし、他院でインプラント治療を受けた患者様が、その不具合に対する治療を主訴に専門医の先生を頼って来院されたとき、どのように対応すればよいのでしょうか。

今回の講習会は、平成30年度のメインテーマの初回講習会になることから、インプラント臨床の第一線でご活躍されている先生方を中心に、問題症例に対して臨床現場で有用な解決法を示唆するとともに、問題症例への対処法について考察することになりました。講義は、最初に私が本テーマを考える上でトラブルの分類とその原因を総括し、トラブルの発生を抑制する対策について考察しました。続いて「インプラント周囲炎への基本的対応」を三上 格先生、「メンテナンス期に生じた問題症例へのリカバリー処置 ~インプラント周囲疾患を中心に~」を高橋徹次先生、昼食を挟んで「咬合の設計と調整」を懸田明弘先生、「経過不良症

例から見る口腔インプラント外科処置時の注意点」を北所弘行先生、最後に「インプラント治療後に生じたトラブルに対する補綴的対応」を舞田健夫先生に講義していただきました。

ここで私が印象に残った講義の内容に触れてみたいと思います。三上先生はインプラント周囲炎への基本的対応として、①インプラント周囲粘膜炎は感染原因を徹底的に除去することで、非外科的治療のみでリカバリーが可能である。②インプラント周囲炎に対する再生療法は予知性のある結果に至ってないため、無理な治療計画は避ける。③再発防止のために徹底したメンテナンスケアを行うことを講義で強調されました。さらに高橋先生はプラークコントロールに対する音波ブラシとオゾンナノバブル水の有効性および遊離歯肉移植のメリットについて興味ある知見をご教示されました。懸田先生はOcclusal-Table Oriented Occlusionを提唱し、咬合力に直行するオクルーザルテーブルの重要性を述べられました。インプラント補綴においても正しい咬合の設計と調整を行えば、上部構造のトラブル発生数は減少すると思われます。北所先生はKitajo's Classificationでメンテナンス期における対応基準を示し、さらには各フラップデザインの利点と欠点、減張切開のコツ、歯科における抗菌薬使用方法について解説していただきました。特に、歯科医師は抗菌薬の不適切な使用で薬剤耐性菌を増加させてはいけないことを肝に銘じるべきだと思いました。舞田先生はインプラント治療に関わる機械的合併症について詳細に分析し、



講習会風景



全体ディスカッション；左から舞田先生，北所先生，懸田先生

その対応についてのご考察をいただきました。そしてインプラントと可撤性義歯のコンビネーションについて、良好な設計の義歯を使用すれば臨床的には問題は少ないことが推測されることを示唆していただきました。

最後になりますが、本講習会にご参加をいただきま

した皆様におかれましては大変お疲れ様でした。今回の内容が先生の日常臨床に少しでもお役に立てば幸いです。お陰様を持ちまして本講習会は、滞りなく盛会のうちに無事、終了することができました。これも会員皆様をはじめ関係各位の絶大なるご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

タイ歯科インプラント学会 (TADI) 主催 バンコク国際インプラントシンポジウム (BIS) 参加報告

九州歯科大学 細川隆司

昨年 (2017年) 12月 6～8日にタイ王国の首都バンコクでバンコク国際インプラントシンポジウム (Bangkok International Symposium of Implant Dentistry, BIS) が開催され、日本口腔インプラント学会からの推薦演者として参加させていただきましたのでご報告致します。この国際シンポジウム (BIS) は、タイインプラント学会の主催により 2年ごとに開催されているものですが、まずはタイインプラント学会に関して簡単にご紹介致します。タイインプラント学会は、1984年に有志により設立されたインプラント研究会が発展し、その後、会員数が増加し組織が拡大したことから 2009年に正式にタイ歯科インプラント学会 (Thai Association of Dental Implantology, 以下 TADI と称す) として発足したとのことです。TADIの初代会長である Dr. Somchai Sessirisombat が現在も会長として会をリードしています。TADIの会員数は増え続けており、毎年学術大会を開催することに加え、学会主催でインプラントの教育コース (認定講習会) を開催するなど活発な活動を続けています。TADI

は、2010年の軍事クーデターの混乱の中で第1回バンコク国際インプラント歯科シンポジウム (以下 BIS) を開催して成功させ、その後、ほぼ2年毎に開催してきており、今回第4回となる BIS2017は1,000人近くの参加者を得てバンコク中心部の Royal Paragon Hall にて盛大に開催されました。TADIはBISを通じて国際的な連携を推進してきており、アジア各国のインプラント学会との協力関係を広げています。日本からは、発足当時より東京医科歯科大学の春日井昇平教授がBISの運営に協力されてこられました。昨年、仙台で開催された学術大会において正式に日本口腔インプラント学会とTADIの連携に関する覚書 (MoU) が締結されました。このMoUによる最初の推薦演者として、若輩者の私が大役を果たさせていただいたことは本当に光栄なことでした。また、個人的にBISの運営に協力されてこられた本会会員の春日井教授も最終日に特別講演をされ、注目を集めておられました。私は、初めてこのBISに参加しましたが、海外からの著名な演者の講演だけでなく、タイやアジア諸国の歯



連携協定を結んだ各国代表の集合写真
(右から2人目が渡邊前理事長)



著者の講演

科医師の発表にも注目に値するものがあり、それらを含めて想像以上に内容が充実していました。今回、BISに参加させていただいて、我々日本口腔インプラント学会も、急速にレベルを上げてきているアジア諸

国のインプラント学会との連携を拡大していく必要があるように強く思った次第です。最後に、このような機会を与えていただいた渡邊前理事長をはじめ関係各位に深く感謝申し上げます。

編集委員会からのお知らせ —学会誌論文のオンライン投稿について—

編集委員会前委員長 宮崎 隆

編集委員会では会員に有益な学術情報を提供するために、学術大会シンポジウム他の内容を誌上に再現した総説・解説論文の充実を図ってきました。また、31巻1号から表紙や紙面の体裁を変更しました。学会の顔として会員の皆様には学会誌を活用していただきたいと思っております。

また、従来は投稿時に準備する資料が多くご不便をおかけしましたが、この度、本年5月26日に「公益社団法人日本口腔インプラント学会誌投稿規程」が一部改正及び施行され、学会誌論文のオンライン投稿を開始しました。オンライン投稿は、当会ホームページのトップページ「刊行物 学会誌・ニュースレター等」より、学会誌の「投稿する」ボタンをクリックで「日本口腔インプラント学会誌投稿フォーム」に進みます。新規論文投稿の際は、①本文、②図、③表、④投稿票、⑤承諾書、⑥利益相反(COI)自己申告書、⑦チェッ

Journal of Japanese Society of Oral Implantology
日本口腔インプラント学会誌

閲覧する

※J-stage のサイトへ移動します

転載許可書

申請書(2部)は返送用封筒(切手貼付)を同封の上、下記宛に郵送してください。
 送付先: 〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル5F
 (一財)口腔保健協会内 日本口腔インプラント学会編集事務局

投稿する ← こちらから投稿フォームにお進みいただけます

日本口腔インプラント学会誌投稿に関するお問い合わせ
 編集事務局: hensyu1@kokuhoken.or.jp

クリスト(④~⑦は白黒PDF)を1つの圧縮ファイルにて(ZIP)投稿してください。論文投稿が完了すると、日本口腔インプラント学会誌投稿フォームより送信完了のメールが届きます。(後日、編集事務局より論文受付メールをお送りします。)

多くの会員からの積極的な投稿をお待ち申し上げます。

用語委員会からのお知らせ —口腔インプラント学学術用語集 第3版 補訂版公開について—

用語委員会前委員長 窪木拓男

すでに、ご存じの会員も多数おられると思いますが、口腔インプラント学学術用語集第3版補訂版が電子出版されました。口腔インプラント学会のホームページの右側バナーからご覧いただくことができます。本補訂版は、第3版の用語を修正したものと、新たに追加した用語を含んでおります。この数年間に口腔インプラント学では新しい学術的概念がつつぎ創出され、周辺診療科も含め大きく発展しています。また、この間に歯学教育のコアカリキュラムも改訂され、デンタル(歯科)インプラントと口腔インプラントという概念そのものが再定義されたこともここに明記すべきと思われます。すなわち、歯列を補うための人工歯根を指す狭義の「デンタルインプラント」という用語

とは別に、我々の学会名でもある「口腔インプラント」は、顎骨再建時やサイナスリフトの際に用いる自家骨や骨補填材、メンブレンなどの移植材料を含み、サイゴインプラント、結合組織移植、顎顔面インプラントなどの新しい手技を含んだより広義な用語として用いられることが再確認されたことは大変重要であったように感じています。

最後になりましたが、本補訂版の作成において、専門分野の知識を存分に発揮していただきご執筆いただいた先生方に心より御礼申し上げます。また学会事務局、医歯薬出版編集部の尽力に感謝申し上げます。

URL: http://www.shika-implant.org/publication/dl/2018_science_thirdedition.pdf

理事長挨拶

公益社団法人 日本口腔インプラント学会
理事長 宮崎 隆

渡邊文彦前理事長の後任として本年6月に本学会の理事長を拝命しました。学会の発展のために、理事会メンバー丸となって会員に奉仕する所存です。会員の皆さまのご支援を宜しくお願い申し上げます。

渡邊前理事長のもとで、本学会は名実ともに我が国の歯学系最大の学会として活動し発展してきました。今期の執行部の活動目標は、会員サービスの一層の向上と、公益社団法人として学会のプレゼンス向上です。

学会の3大事業は、学術講演会の開催、機関誌の発行、ならびに会員の認定制度です。学術講演会については、できるだけ多くの会員が参加できるように魅力あるプログラムの企画を行い、かつ参加しやすい環境を整えます。また、臨床学会として臨床研究と症例発表を増やす努力をします。

本学会は機関誌として学会誌と国際誌(IJID)を発行しています。学会誌については、学会員が臨床研究や症例報告を投稿しやすい環境整備を図るとともに、総説論文・解説論文を掲載して会員への有益な情報提供に努めます。国際誌については高いインパクトファクターを取得し、維持できるように努力します。

認定制度については、専修医ならびに専門医を申請しやすい環境整備を行い、試験の運営方法も改善し、できるだけ多くの会員がインプラント治療の専門資格を

取得して国民の健康増進に還元して欲しいと思います。

本学会のルーツは1972年に設立された日本歯科インプラント学会と日本デンタルインプラント研究学会であり、1986年に両学会が合併して日本口腔インプラント学会として発足しました。前身の学会から間もなく50周年を迎えるため、理事会として50周年記念事業の準備をしています。多くの先人の努力と功績を振り返り、次の50年、100年に向けて英知を絞って活動を進めましょう。公益社団法人として社会への責任を果たすためには、本学会が口腔インプラント学の学問体系を確立し、科学的根拠に基づいたインプラント治療に関わるガイドライン・治療指針の制定、さらに教育プログラムの制定をすることが重要です。

昨年度の47回学術講演会(仙台)では、「インプラント治療が拓く未来」というテーマのもと、学会が「ミート・ザ・フロントランナー」として超高齢社会の健康寿命の延伸に貢献することを宣言しました。さらに今回の48回学術大会では同じ「インプラント治療が拓く未来」というテーマで、人生の最後までインプラント患者のQOL回復と尊厳に責任を果たすべく、「超高齢社会に対する責任」について、馬場大会長から大阪宣言を公表する予定です。多くの会員が大阪に結集し、大いに議論することを期待します。

新役員紹介

平成30年6月10日に開催されました総会におきまして、新役員が決まりましたので御紹介致します

理事長 宮崎 隆(昭和大学副学長, 教授)

常務理事 阪本貴司

(医療法人白鵬会 阪本歯科院長)

専務理事 塩田 真

(東京医科歯科大学大学院准教授)

理事 堀田康記(堀田歯科院長)

理事 古谷野 潔(九州大学歯学部部長, 教授)

※九州支部支部長

常務理事 矢島安朝

(東京歯科大学水道橋病院長, 教授)

理事 西郷慶悦(西郷歯科医院院長)

※東北・北海道支部支部長

常務理事 築瀬武史

(医療法人社団泰峰会 ヤナセ歯科院長)

理事 井汲憲治(医療法人 石倉歯科医院院長)

※関東・甲信越支部支部長

常務理事 馬場俊輔(大阪歯科大学教授)

※近畿・北陸支部支部長

理事 窪木拓男(岡山大学大学院教授)

※中国・四国支部支部長

理事	加来敏男 (医療法人 加来歯科理事長)	理事	岸 民祐 (医療法人 ティースプラザ歯科理事長)
理事	近藤尚知 (岩手医科大学歯学部教授)	理事	細川隆司 (九州歯科大学教授)
理事	大久保力廣 (鶴見大学歯学部教授)		
理事	田中譲治 (田中歯科医院院長)		
理事	村上 弘 (愛知学院大学歯学部教授) ※中部支部支部長	監事	相浦洲吉 (アイ歯科医院院長)
理事	池邊一典 (大阪大学大学院教授)	監事	赤川安正 (広島大学名誉教授)
理事	戸田伊紀 (大阪歯科大学准教授)	監事	馬淵洋一 (一社 国際医療交流支援協会 常務理事) (カッコ内 所属 ※印 各支部長)

各種委員会紹介

(任期：2018年7月8日～2020年6月定時総会日まで)

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務	井汲憲治	塩田 真 岸 民祐	西郷慶悦, 高橋 哲, 小田 茂, 佐藤 聡, 矢島安朝, 築瀬武史, 古谷野 潔, 澤瀬 隆
財務	阪本貴司	樋口大輔	鷺谷一晴, 山口葉子, 尾関順子, 小室 暁, 久保隆靖, 正木千尋
編集	大久保力廣	玉置幸道 (学会誌)	岩野義弘, 金田 隆, 上條竜太郎, 白井麻衣, 松野智宣, 前田初彦
		前田芳信 (国際誌)	横山敦郎, 馬場一美, 和田誠大, 鮎川保則, 正木千尋
学術	矢島安朝	澤瀬 隆	梅原一浩, 加藤仁夫, 佐々木穂高, 佐藤 聡, 武田孝之, 武知正晃, 城戸寛史
教育・研修	近藤尚知	阿部伸一	梅原一浩, 奥森直人, 小倉 晋, 佐藤大輔, 草野 薫, 水口 一
用語	村上 弘	加藤仁夫	高橋 哲, 児玉利朗, 山口秀紀, 代居 敬, 本田雅規, 西村正宏
認定	築瀬武史	三上 格 細川隆司	西郷慶悦, 関根秀志, 大久保力廣, 田中譲治, 萩原芳幸, 日比英晴, 江原雄二, 阪本貴司, 城戸寛史
試験	細川隆司	越智守生	福田雅幸, 植松厚夫, 佐藤 聡, 阪本貴司, 澤瀬 隆
国際	堀田康記	池邊一典	横山敦郎, 萩原芳幸, 伊藤幸司, 和田誠大, 前川賢治, 荻野洋一郎
倫理	馬場俊輔	戸田伊紀	関根秀志, 尾関雅彦, 谷岡款相, 村上 弘, 奥田謙一, 草野 薫
医療・社会保険	西郷慶悦	佐藤裕二	上林 毅, 山森徹雄, 横山敦郎, 小倉隆一, 野本秀材, 田島伸也
広報	加来敏男	塩田 真	山森徹雄, 今 一裕, 内藤宗孝, 十河基文, 村井健二, 友竹偉則, 添島義樹
専門歯科衛生士	田中譲治	和田義行	柏井伸子, 鈴木佐栄子, 加藤大輔, 山田貴子, 篠原こずえ, 正木千尋
専門歯科技工士	古谷野 潔	佐藤博信	舞田健夫, 江黒 徹, 木村健二, 十河厚志, 増田長次郎, 野林勝司
中央選挙管理	涌本 昇	田中 悟	高橋康則, 大田善秋, 志賀泰昭, 山口陽道, 土屋直行
利益相反	池邊一典	馬場俊輔	小山重人, 佐藤裕二, 原 俊浩, 権田知也, 加来敏男, 若松陽子 (会員外)
研究推進	窪木拓男	鮎川保則	會田英紀, 佐藤洋平, 廣安一彦, 山田陽一, 秋山謙太郎, 大島正充
医学倫理審査	戸田伊紀	岸本裕充 若松陽子 (会員外)	小山重人, 小久保裕司, 立川敬子, 梶本忠保, 田口洋一郎, 橋本典也, 名取はにわ (会員外)
専門医制度推進	塩田 真	矢島安朝	井汲憲治, 築瀬武史, 阪本貴司, 馬場俊輔
50周年記念 事業準備	宮崎 隆	塩田 真	相浦洲吉, 井汲憲治, 大久保力廣, 矢島安朝, 築瀬武史, 堀田康記, 阪本貴司

新入会者紹介

(平成 29 年 11 月 21 日～平成 30 年 6 月 30 日)

▼東北・北海道支部

(北海道) 阿部一博, 石井友和, 久原啓資
 小西絵里奈, 鈴木あやか, 高嶋麗奈, 千葉豊和
 富樫 茜, 成田陽香, 菫崎誠治, 安永賢史
 山口結加, 山田 怜
 (青森県) 柴田知佳
 (岩手県) 河合崇普, 高橋奈美, 細川公嗣
 山本将人, 横澤祐奈
 (宮城県) 相澤一巳, 伊東明代, 尾崎 茜
 木村優里, 児玉有紀, 後藤和宏, 小松秀裕
 佐々木美希, 庄原健太, 早坂仁志, 宮下牧子
 (秋田県) 石田 昂, 石田貴洋, 下田悟士
 鈴木兼一郎, 鈴木昇建, 根田朋武, 福地峰世
 (山形県) 鹿谷武史
 (福島県) 萱場博子, 河村享英, 昆野巨祐
 須佐真子, 寺島 薫, 宗形真希, 若菜優梨花
 渡邊 純

▼関東・甲信越支部

(茨城県) 飯塚俊彦, 石野友香, 小貫明秀
 野口 拓, 福田大河
 (栃木県) 井本崇允, 昆野匡祐, 橋本直也
 三宅史恵
 (群馬県) 小倉結菜, 下山宗隆, 中澤妙衣子
 (埼玉県) 赤嶺優一, 伊澤優一
 石井マイケル大宜, 石原弘文, 上田康弘
 大村 収, 上井達絵, 久村 星, 小島史雄
 柴田亮祐, 関口 亮, 高田美保, 高屋杏奈
 田島秀樹, 田村 希, 丹野 芹, 千代直美
 長藤愛美, 中村美月, 西原正樹, 根岸清英
 橋本佳明, 藤原大祐, 前田慶子, 松村実香
 松本和也, 村松輝晃, 遊澤奈都
 (千葉県) 阿部博愛, 安藤壮平, 伊佐みづき
 石橋千春, 市川怜那, 伊藤泰隆, 今井 紬
 太田悠策, 小澤範宏, 小野奈津美, 川島雄介
 川手良祐, 川村昌弘, 北野祥真, 吉川一希
 木部真実, 清田彩貴, 黒田杏奈, 洪 良基
 齋藤 伸, 齋藤真規, 坂森琳伽, 白鳥 伸
 菅原拓哉, 高橋彩夏, 高橋 勇, 友田航輔
 中川雅子, 西原良治, 野木章寛, 日高真吾
 福重朋世, 藤原 純, 堀 美咲, 松崎麻実
 松橋絢子, 丸山慶一郎, 峯元裕未, 宮野光貴
 村岡宏隆, 村上美恵子, 山岡千春, 山田瑞恵
 山本貴雅, 山本瑞穂, 吉澤泰彦, 吉原ゆかり

(東京都) 朝田和夫, 朝波惣一郎, 新 充弘
 虻川東嗣, 池田信一, 池田泰輔, 石塚忠利
 石村英里, 市場敬基, 一森貴美子, 伊藤健人
 井上卓俊, 井之前貴雄, 今井雄太, 入谷奈津美
 岩淵義之, 植田正孝, 上原輝映, 植松智樹
 梅田恵理奈, 大井手良光, 大久保貴久, 大澤昂平
 大島光慶, 太田功貴, 大矢知代, 岡田雅嗣
 荻原光博, 奥原友輝, 角田 航, 笠川博紀
 加納 徹, 北菌里佐, 木村翔馬, 工藤 晋
 熊谷博太郎, 小池里佳, 兒島学実, 古宅康俊
 小谷 航, 後藤裕二郎, 小沼寛明, 小林豊明
 小松優介, 今野麻央, 齋藤百乃, 酒井隆太郎
 坂口達哉, 坂寄友彦, 佐藤希恵, 佐藤健人
 佐藤友光大, 眞田知基, 眞田麻希, 椎貝 誠
 重松正樹, 柴垣諒子, 嶋崎 宏, 新藤有道
 杉田明裕, 鷲見友靖, 住友栄太, 関口晃弘
 曾根田皓士, 大塔庸平, 高田宏起, 高橋靖治
 竹村 舟, 武山真由, 田中利佳, 玉岡慶鐘
 近澤俊郎, 土田幸介, 遠山和規, 中川史彦
 長崎正寛, 中島章太, 仲田泰治, 中田雄介
 長友香菜子, 中村洋二, 中山総一郎, 難波美由
 西林 諒, 西原郁子, 根本敏行, 畑中幸子
 早川琴美, 林 宏泰, 原田惇朗, 東倉光輝
 平川 剛, 平場晴斗, 深澤麻衣, 深町 力
 藤井博之, 伏居玲香, 藤田眞唯子, 古居 憲
 堀田康弘, 堀口真由香, 前田祐佳, 町田有理
 松井徳雄, 松尾一樹, 松木 潤, 松崎祐也
 間中総一郎, 三岡さくら, 三上理沙子, 宮城拓人
 宮澤貴裕, 宮下陽子, 村上 祥, 村山 真
 望月雅人, 森 洋佑, 山崎 治, 山田大介
 大和咲紀, 山中崇史, 山本裕一, 横矢安奈
 吉田啓二, 吉田拓志, 吉田 浩, 吉野剛史
 依田英俊, 頼岡廣明, 力徳史朗, 渡辺知明
 (神奈川県) 池田順子, 池田達智, 石川直樹
 内山恭子, 海老原芳紀, 大内美貴子, 桂 亮介
 川嶋一誠, 菊地恵美, 北村直己, 小林和子
 斎藤理絵子, 佐々木博英, 佐藤宏憲, 重原 暉
 菅原英樹, 鈴木彩夏, 鈴木弘毅, 鈴木智弘
 田口智子, 千葉隼人, 寺田美香, 戸田雅美
 仲野博智, 夏目沙希, 奈良嘉峰, 西村允貴
 信 佳織, 服部裕二, 花田信弘, 旭岡亜紗美
 平井健太郎, 平塚祐子, 普川公貴, 藤原 崇
 古川辰之, 丸山聖人, 皆川澤那, 村田 彩

百瀬恵美, 吉田和枝, (新潟県) 近藤道人, (山梨県) 古屋広樹, (長野県) 丸山 貴 ▼中部支部 (岐阜県) 仲宗根 歩 (静岡県) 各務清貴, 平野智昭, 與座崇史 (愛知県) 石黒貴之, 笠井詩穂, 杉本賢司, 藤後由香梨, 平井辰宜, 松永祐貴, 森田誉嗣, 吉村一宏, (三重県) ▼近畿・北陸支部 (富山県) (石川県) (滋賀県) (京都府) 藤原浩司, (大阪府) 生野智也, 井上絢介, 岡村友玄, 高ベイエン, 清水博行, 高木亮典, 田村 功, 西内寛恵, 早坂 優, 本多正明, 脇田悠仁 (兵庫県) 負門直樹, 白井達也, 松永優希,	藪田資直, 和田東洋磨 宇留間 紫, 田巻友一, 天野高宏, 渡辺正哉 内田啓一, 浅井 宙, 伊東大地, 幸崎日出男, 松浦勇次, 荒島佳代, 今川直樹, 神村直香, 須永弘人, 中川皓嵩, 深尾恵久, 松本浩友紀, 山中洋介, 脇田大介 前田顕範 池上 大, 下谷 誠 浅田泰幸, 井上 亮, 御簾裕生, 秋山真理, 石川大貴, 井上美沙樹, 岡本志保, 後藤喜平, 白井 翼, 高倉聖代, 寺西香織, 野上泰嗣, 藤井三紗, 松下範昭, 泉 さおり, 岡崎史枝, 高橋義充, 村上雄一,	山下 宗, 小野喜樹, 土屋遊生, 岡部俊秀, 永田 郷, 大和田和学, 河野 由, 元橋崇行, 飯田晃久, 大野 祐, 榊原淳平, 田中奈央, 中野雄貴, 前川裕貴, 松本真依, 山本富美子, 金井拓実 勝 佳美, 大江亜希子, 山本康博, 安部明美, 石野貴嗣, 大塚淳平, 加藤雅紀, 此木隆太郎, 新野貴子, 高原悠樹, 富永和也, 野田 憲, 古内秀幸, 水上伸太郎, 乾 香織, 押谷将之, 谷 佐知子, 山田成美,	山下美奈子 木村 威 丸尾瞳子 福本晃祐 林 一義 北原沙也加 小川健一 佐藤光浩 山口広樹 石黒大蔵 加古陽里 須川雄司 筒井絵梨 野村宝弘 前田佳代 水野友記子 吉田圭吾 町田好聡 川口卓行 李 春雨 糸田昌隆 大西裕之 川本知明 堺 貴彦 高尾誠二 田幡 元 中島 崇 萩野僚介 本家慶洋 八木 龍 上山弘晃 佐野めぐみ 服部洋一 山本修平	吉田和功 (奈良県) 馬淵泰彰, (和歌山県) ▼中国・四国支部 (岡山県) Nguyen Ha, (島根県) (広島県) 高橋秀爾, (香川県) (愛媛県) (高知県) ▼九州支部 (福岡県) 岩本大征, 柿木保明, 後藤加寿子, 武居宏樹, 富田知孝, 前原 隆, 渡邊多恵 (佐賀県) 宮地加奈 (長崎県) 坂元 裕, 峰当 卓 (熊本県) 鎌田政彦, 小西佳奈, 宮津有貴子, (大分県) 垣迫裕子, (宮崎県) (鹿児島県) (沖縄県) 鈴木晴也, 横山貴至 田中祐衣, 西口雄祐, 大森 江, 田仲由希恵 田頭龍二, 狩野正明 石岡康希, 辰川 恵, 入谷麻理, 亀川義史 川村加奈子, 森 仁志 有馬義人, 瓜生紳一郎, 木下康平, 三田公麿, 田中 礼, 中富貴大, 松崎雅昌, 大橋順太郎, 古賀未貴, 井上真愛弥, 岩竹真弓, 杉原考輝, 鈴木正義, 浅野史朗, 石田久美子, 川上真理子, 川上 憂, 田崎優奈, 田中秀幸, 吉永枝莉子, 湧澄彩香 井川剛健, 内田隆博, 森崎重規 高見真亜子, 廣瀬裕美, 山ノ上理子 堀之内竜二 大森優樹 鈴木健夫 横井美有希 岩城 聡 小野堅太郎 栗林佑太郎 芹田 俊 陳 曦 深井康弘 山下敏生 満行舞子 川井真里奈 廣沢恵介 岩下ありさ 後藤純子 中山 茜 小原正嗣 山ノ上理子 堀之内竜二 (以上 541 人)
---	--	--	--	--

お詫び

Implant News No.27の3ページ右段末尾に以下の間違いがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

(誤) 事務局長 小川 徹一
(正) 事務局長 小川 徹

目次

第48回学術大会開催の挨拶 1
 第48回学術大会プログラム 2, 3
 平成29年度研修施設長・施設名変更 4
 平成29年度指導医合格者 4
 平成29年度専門医合格者 4
 平成29年度専修医合格者 4, 5
 平成29年度専門歯科衛生士合格者 5
 平成29年度専門歯科技工士合格者 5
 関東・甲信越支部第9回学術シンポジウム
 開催報告 5, 6
 第30回口腔インプラント専門医臨床技術
 向上講習会報告 6, 7
 第31回口腔インプラント専門医臨床技術
 向上講習会報告 8
 第32回口腔インプラント専門医臨床技術
 向上講習会報告 9, 10
 TADI主催バンコク国際インプラントシンポジウム
 (BIS)参加報告 10, 11
 編集委員会からのお知らせ 11
 用語委員会からのお知らせ 11
 理事長挨拶 12
 新役員紹介 12, 13
 各種委員会紹介 13
 新入会者紹介 14, 15
 目次 16

広報委員会からのお知らせ

今年度から加来敏男が委員長を務めます。今期の広報委員会のメンバーは以下の通りです。

委員長：加来敏男 副委員長：塩田 真
 委員：山森徹雄, 今 一裕, 内藤宗孝, 十河基文
 村井健二, 友竹偉則, 添島義樹

広報委員会はニュースレターとホームページを通じて会員の皆様に学会の情報を素早く正確に伝達するよう努力致します。引き続き、広告可能な専門医取得に向けて広報の立場からサポートしていく所存です。ご意見、ご要望等ございましたら、以下の連絡先にご連絡ください。

〒871-0057 大分県中津市三ノ丁1278-3
 医療法人加来歯科 加来敏男
 電話：0979-22-0708
 ファックス：0979-22-1688
 メールアドレス：info@kakudental.com

インプラント学会 検索

Thinking ahead. Focused on life.

100+ Years
 A Century of Innovation

MORITA



Veraview
 X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80µmのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。

Debut



発売 株式会社 モリタ 大阪本社：大阪府吹田市南里水町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380-2525 東京本社：東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834-6161
 お問い合わせ：お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800-222-8020 (フリーコール) 製造販売：株式会社 モリタ製作所 京都府伏見区東浜町680 〒612-8533 T 075-611-2141
 販売名：ベラビュー X800 標準価格：9,600,000円～(消費税別) 2016年10月21日現在 一般的名称：デジタル式歯科用パノラマ・断層撮影X線診断装置
 機器の分類：管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号：228AC82X00008000
 詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800